

日本初の宇宙飛行士秋山さん避難先転々 原発事故に怒り

asahi.comに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

[サイトポリシー](#) | [個人情報](#) | [著作権](#) | [リンク](#) | [広告掲載](#)
| [サイトマップ](#) | [お問い合わせ](#)・[ヘルプ](#)

関連トピックス

| [東京電力](#) | [原子力発電所](#)

避難生活を共にした軽トラックと秋山さん＝11月28日、群馬県藤岡市鬼石、高橋淳撮影

拡大

元TBS記者で、日本人として初めて宇宙を旅した秋山豊寛さん（69）。16年前から福島県で農業を営んでいたが、東京電力福島第一原発の事故で避難生活を続けている。

キュッキューン。首から下げた放射線警報機が音をたてた。原発から約32キロの田村市内。震災翌日の3月12日、着替えをスーツケースに詰め、軽トラックで家を出てもまもなくのことだった。「万をを考えて買っておいた警報機。まさか役立つ日がくるなんて」

TBSでワシントン支局長などを歴任した秋山さんは1990年、社内プロジェクトで旧ソ連の宇宙船ソユーズに搭乗。宇宙ステーション「ミール」に滞在した。5年後に早期退社。阿武隈山地の雄大な自然にほれ込んで移り住み、自給自足の暮らしに飛び込んだ。

泥の手触りを楽しみながらの田植え。収穫の秋には生きる実感をかみしめる。裏山では収入源となるシイタケを栽培した。「退職金をブチ込んで農地を買い、家を建てたのに。強盗に身ぐるみはがされたようなものだ」と原発事故への怒りをぶつける。

軽トラックを走らせ、まずは約50キロ先の同県郡山市郊外の温泉旅館へ避難。その後、有機農法の勉強会などで知り合った友人のついで群馬県、長野県と移り住み、今は群馬県藤岡市の山あいに古い民家を借りて暮らす。

田村市の自宅は国の定める避難区域からわずかに外れるが「『だから安全です』なんていうおまじないを信じるわけにはいかない」。10月、自宅の様子を見に戻ったとき、近所の友人から「米からセシウムが出た」と告げられた。濃度は「基準値以下」というが、有機栽培で安心な米づくりを続けてきた友人にかけられる言葉が見つからなかった。

「原発は広大な阿武隈の森を汚染し、地球の大気と海に放射性物質をまき散らしている」。全てを失った今、原発事故への恨み、怒りの気持ちが生きる原動力になっているという。

この秋、京都造形芸術大学で学生を教えるほしいとの依頼があった。これを機会に来年は京都に移住する予定だ。「また一からタケノコ栽培などに挑戦したい。でも今度は若狭湾が。今の日本、どこに行っても原発はあるんだよ」

秋山さんの手記「原発難民日記 怒りの大地から」（岩波ブックレット）が7日、出版された。（高橋淳）

| [アサヒ・コムトップへ](#) |

検索

映画・音楽
教育

BOOK
ファッション

囲碁・将棋
食と料理

デジタル
住まい

トラベル
就職・転職

愛車
環境

医療・健康
どらく

内田樹さん「就活し楽たいジョギングなんならないデザインも受験院大歓迎で和田アキ子さんじゃ総

合格したら鉛筆返してね

面接に進めたのは9567分の3

センター試験対策をおさらい

芥川賞・直木賞 発表の瞬間生中継

今、ここを真剣に生きていますか？

昔から日本人は見て見ぬふり

新聞購読のご案内 **朝日新聞** 会社案内・事業紹介

東日本大震災アーカイブ

グーグルアースで見る被災者の証言

個人としての思いと、かつてない規模の震災被害、その両方を同時に伝えます（無料でご覧いただけます）

プロメテウスの罫

明かされなかった福島原発事故の真実

福島第一原発の破綻を背景に、政府、官僚、東京電力、そして住民それぞれに迫った、記者たちの真実のリポート

検索

亡くなられた方々

[検索](#) | [記事一覧](#)

動画

[動画付き記事一覧](#) | [動画ページ](#)



朝日新聞デジタル 地域情報

記事・写真データベースのご案内



【聞蔵】短期利用やトライアルの新
キャンペーン開始

朝日新聞社インフォメーション

CSR報告書	採用情報
記事や写真利用 案内	写真の購入案内 案内
asahi.com利用 案内	デジタルサービ ス一覧
kotobank 用語 解説	朝日新聞出版の 本

[PR] 比べてお得！

[プロバイダー比較はこちら](#)

[引越し見積もりはこちら](#)